

## 銘柄分析レポート：ティリングハスト氏が買っている不動産会社

### 1 はじめに

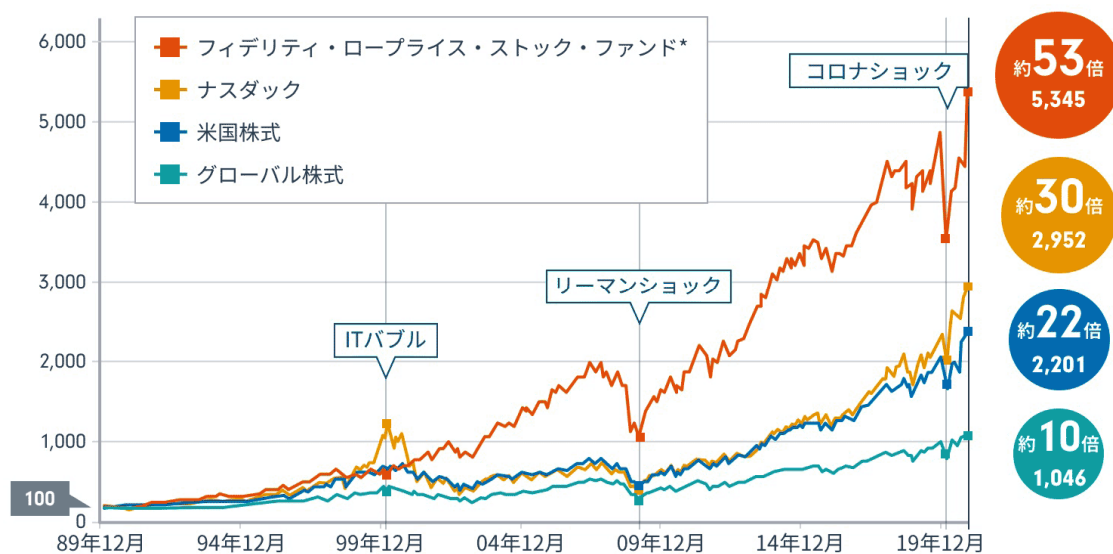
バリュー投資の実践により、30年を超える長期間において、突出したパフォーマンスを達成しているファンドがあります。

その名は「フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド」。1989年12月に運用を開始して以来、約53倍のリターン実績を持ち、グローバル株式、米国株式、GAFAMの含まれるナスダック株式を上回っています（下図）。

ラッセル2000（米国の小型株指数）をベンチマークとしているものの、外国株にも投資しており、特に我が国の小型株を好んで組み入れています。会社四季報の株主欄に「BBHフィデリティロープライスドストックF」として登場しているため、四季報を通読している投資家には知られているファンドです。

ファンドマネジャーはジョエル・ティリングハスト氏。かつて天才ファンドマネジャーとしてうたわれ、フィデリティでティリングハスト氏の採用にも関わったピーター・リンチ氏は「ティリングハストは、歴史を通じて最も偉大かつ成功したストックピッカーの一人である」と評しています。

我が国においても、ティリングハスト氏の運用する新ファンド「フィデリティ・世界割安成長株投信」が2020年3月にスタートして、どのような投資を行っているのか、日本語の情報が得られるようになりました。



出典：フィデリティ投信